

第18回 テニスフォーラム 講師紹介

1日目：12月2日（土）

9：30～11：00（体育館）

『アプリを活用したインスタントフィードバック指導の実践』

講師：佐藤哲史（株式会社Sports Multiply、日本体育協会AT）



スマートフォンの無料・格安アプリでも、テニス指導に役立てることができる！

今回は、昨年のテニスフォーラムでご好評いただいた内容をさらに発展させ、具体的なスマホ・アプリの活用法を、実際のトレーニング指導をデモンストレーションしてもらいながら紹介していただけることになりました。アプリを使った指導の効果について、ご自身の体を使って体験してください。

携帯やスマホをテニス指導に活かしたいと考えている方にとって必見です。

『テニスの競技動作を洗練するための機能的なアプローチ（理論&実技）』

理論編 11：10～12：10（講義室）

実技編 13：10～14：30（体育館）

講師：魚田尚吾（大阪体育大学、日本体育協会AT）



最近、「機能的トレーニング」「ファンクショナルトレーニング」といった言葉を耳にするようになりました。ネットや雑誌での情報が氾濫している一方で、具体的にどのようなトレーニングなのか？留意すべき点はなにか？より効果的にするにはどうすればいいのか？といった点を詳しく聞いたことはありません。

今回は、機能的なトレーニングのアプローチを研究している魚田先生に、そのコツについて講義形式と実技形式を交えて詳しくレクチャーしていただきます。

『将来を見ずえてジュニア期に習得すべきテクニックの指導方法』

14：45～17：00（テニスコート）雨天の場合は体育館

講師：右近憲三（神戸松蔭女子学院大学、ユニバーシアド総監督）



現在ユニバーシアド総監督であり、かつて14歳ワールドジュニア男子日本代表監督として当時の錦織圭を直接指導し、世界準優勝に導いた右近憲三氏を講師にお招きします。将来を見ずえてジュニア期に習得すべき指導法を、オンコートで実践的に論じていただきます。

2日目：12月3日（日）

『ラケットセンサーの精度と現場での活用法について』

9：20～10：35（講義室）

講師：岩嶋孝夫（東京都市大学 准教授）



今話題の「ラケットセンサー」。

製造メーカーが広告しているような「効果」は本当にあるのでしょうか？

決して「安価なツール」とは言えないラケットセンサーですから、その導入について二の足を踏んでいる人も多いことかと思えます。

ラケットセンサーを用いた指導の研究をされている岩嶋先生に、その可能性と限界、活用法と利用価値について科学的データを交えて論じてもらいます。

『創造性のあるプレーヤーを育てるコーチングとは？—ジュニア期の効果的なスキル指導法—』

10：45～12：30（講義室）

講師：梅林薫（大阪体育大学 教授、日本コーチング学会理事）



昨今のテニス界では「創造性のあるプレーヤー」がキーワードになっています。

ただ強いだけでは限界がある。突き抜けて強くなるためには「創造性」が

大事だとされています。創造性あるプレーヤーを育てた指導者に共通していたことはなにか？

日本コーチング学会理事であり、日本テニス協会のジュニア強化に長年携わってきた梅林先生に、コーチング学的な角度から語っていただき、参加者間のグループ・ディスカッションを通して情報共有する時間にする予定です。

『14歳からの育成環境で必要な指導について』

13：45～15：45（テニスコート）雨天の場合は体育館

講師：宮地弘太郎

（大阪体育大学 教授、日本テニス協会S級エリートコーチ）



日本テニス協会ユニバーシアド男子ヘッドコーチである宮地先生をお招きし、14歳からの育成環境で必要な指導について、オンコートで実践的に論じていただきます。

テニスのゲーム分析とコーチング研究の専門家でもある宮地先生に、ジュニア指導のポイントである「14歳」の育成環境について、実践的にご紹介していただけます。